

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り8.54人とやや減少しています。安芸区18.5人、東区17.3人、安佐北区12.3人となっています。

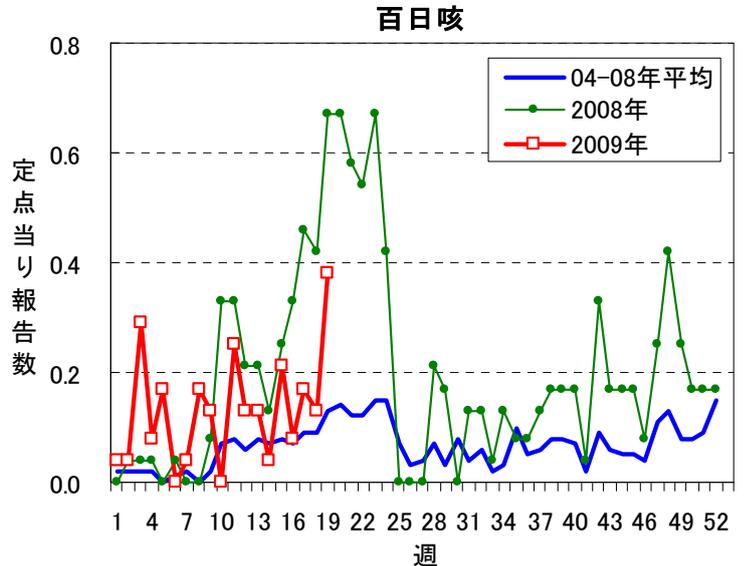
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り2.00人とやや減少しています。安芸区7.0人となっています。例年5月から6月ごろにかけて多い時期となりますので注意が必要です。

3. 百日咳

9人(定点当り0.38人)報告されています(すべて20歳以上)。昨年は5月から6月にかけて多くなっており、今後の動向に注意が必要です。

第19週はゴールデンウィーク期間中のため、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。



■5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	67	1.81	0.98	▲	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.12	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.40		流行性耳下腺炎	16	0.67	0.84	▶
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.57	▶	RSウイルス感染症	-	-	0.02	
感染性胃腸炎	205	8.54	6.14	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	46	1.92	2.24	▶	流行性角結膜炎	16	2.00	0.83	▲
手足口病	-	-	0.59		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	12	0.50	0.30		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	13	0.54	0.52		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.34	
百日咳	9	0.38	0.13		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▶		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く
 (注3) オウム病を除く

■1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	1	70	男性(10歳未満)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	7	女性(60歳代)・O157

■5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

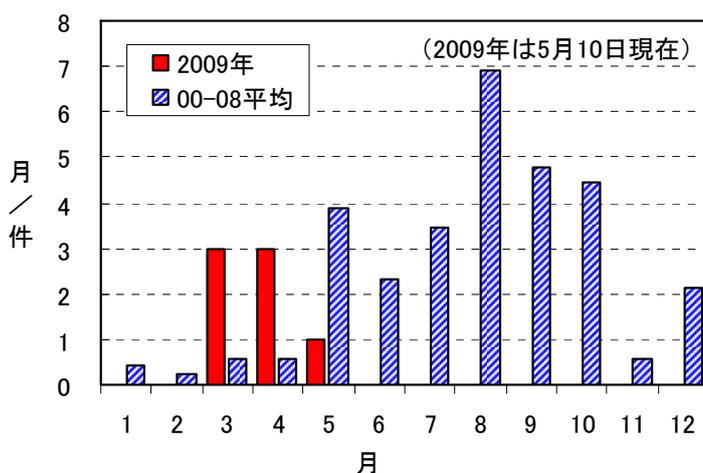
報告数	報告地	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
			(注1)																	
報告数	広島市	第15週	126	1	55	215	37	-	10	16	5	3	21	2	-	10	-	-	2	-
		第16週	181	1	58	238	41	-	7	21	2	-	20	-	-	5	-	-	1	-
		第17週	160	11	47	274	35	-	9	14	4	-	17	-	-	10	-	-	2	-
		第18週	102	11	59	250	33	1	13	13	3	-	11	-	-	9	-	-	3	-
		第19週	67	14	48	205	46	-	12	13	9	4	16	-	-	16	-	-	2	-
定点当り	広島市	第15週	3.41	0.04	2.29	8.96	1.54	-	0.42	0.67	0.21	0.13	0.88	0.08	-	1.25	-	-	0.29	-
		第16週	4.89	0.04	2.42	9.92	1.71	-	0.29	0.88	0.08	-	0.83	-	-	0.63	-	-	0.14	-
		第17週	4.32	0.46	1.96	11.42	1.46	-	0.38	0.58	0.17	-	0.71	-	-	1.25	-	-	0.29	-
		第18週	2.76	0.46	2.46	10.42	1.38	0.04	0.54	0.54	0.13	-	0.46	-	-	1.13	-	-	0.43	-
		第19週	1.81	0.58	2.00	8.54	1.92	-	0.50	0.54	0.38	0.17	0.67	-	-	2.00	-	-	0.29	-
全国	第17週	3.51	0.29	2.15	8.57	1.56	0.10	0.13	0.71	0.04	0.06	0.53	0.10	0.03	0.51	0.02	0.03	0.39	0.03	
	第18週	3.23	0.29	2.06	8.42	1.64	0.09	0.15	0.61	0.05	0.07	0.56	0.09	0.02	0.53	0.02	0.02	0.35	0.03	

(注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く (注2)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	24	女	2009/04/14	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	24	男	2009/04/15	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	3	男	2009/03/17	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	35	女	2009/04/28	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	54	女	2009/04/26	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	14	男	2009/04/14	咽頭拭い液	インフルエンザB型
インフルエンザ	14	男	2009/04/15	咽頭拭い液	インフルエンザB型
インフルエンザ	5	女	2009/04/17	咽頭拭い液	インフルエンザB型
インフルエンザ	15	女	2009/04/20	咽頭拭い液	インフルエンザB型
インフルエンザ	20	女	2009/04/21	咽頭拭い液	インフルエンザB型
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	2	女	2009/04/05	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
咽頭結膜熱	9	女	2009/03/28	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
咽頭結膜熱	不明	女	2009/03/30	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数



今年は、5月10日現在で7件報告されており、例年と比べて多くなっています。気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にありますので、今後注意が必要です。

腸管出血性大腸菌は、熱には弱いですが、感染力が強く、わずか数十個でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけるとともに、生肉などの食品の取扱いには十分注意する必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp